

学習内容報告書 フォーマット

学校名	串間市立金谷小学校
授業者	上田 智秀

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海の仕事にチャレンジ

1-2. 学年

第3・4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

海洋教育科

1-4. 単元の概要

海洋を利用した金谷地区周辺の産業について図書やインターネットを活用して調べた後、実際に職業を体験したり専門家にインタビューをしたりして、海洋を利用した産業についての理解を深める。また、様々な海洋に関する課題等についても考えるようにする。






1-5. 単元設定の理由・ねらい

金谷小は海岸から約200mの位置にあり、海洋の影響を強く受ける環境にあるが、保護者や地域の方で海洋関係の職業に従事している方が少なくなっている。しかし、児童は海洋関係の職業への関心が高いとは言えない。そこで、「海を利用する」分野である産業についての調べ活動や体験的な活動を通して、海の自然・社会環境に対する基礎的な知識や関心を高め、海について主体的に考える態度が身に付くことが期待される。また、海洋教育を通して異学年で学び合う中で、「主体的・対話的で深い学び」の能力、表現力やコミュニケーション能力を育て、故郷を愛する心情を高めていきたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- 海を生かした仕事について関心をもたせる。
- 疑問に思ったことを適切な資料を用いて調べたり、専門家にインタビューしたりして解決する力を高める。
- 海を生かした仕事の見学を通して、ふるさとを愛する心情を養う。

1-7. 単元の展開（全11時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	<p>1 課題設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校区周辺の、海を生かした仕事について、さまざまな課題をもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋について気になることをカードにして、課題を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に教師が、地域の地図や写真を準備しておく。 ○ 校区の地図や写真を見ながら、海洋について知っていることや気になっていることをカードに書かせる。 ○ カードを整理して課題をまとめさせる。
7	<p>2 調べ活動</p> <p>(1) 海を生かした校区周辺の仕事について、その仕事の概要を調べ、見学や体験活動の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットや図書を使って、海洋関係の職業について調べる。 <p>(2) 海洋関係の職業を体験したり働く人にインタビューをしたりして調べる。</p> <p>① 海洋レジャー（SUP）体験やインタビューをする。</p>   <p>② 定置網漁体験とインタビューをする。</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師は、関連図書やインターネットサイトを確認する。 ○ 協力してもらえる企業等との打ち合わせを行う。 <p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恋ヶ浦自然学校 前田 治郎 さん 他2名 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体験を通して海洋レジャー業や地域の海に関心をもたせることができたか。 <p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「海心」（串間市水産業） 川崎 義成 さん <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定置網漁の体験を通して漁業について関心をもたせるとともに、地域の海に生息する生物を知ることができたか。 ○ 地域の海で魚を捕り、それを調理し食べるという一連の流れを体験することで、食への関心を高めることができたか。
2	<p>3 まとめ・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べて分かったことをまとめる。 ○ 発表の仕方を考える。 ○ 海を生かした校区周辺の仕事について分かったことを発表する。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べて分かったことを整理して、発表することができたか。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- 定置網漁の体験を通して漁業について関心をもたせるとともに、地域の海に生息する生物を知る。
- 地域の海で魚を捕り、それを調理し食べるという一連流れを体験することで、食への関心を高める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 玄関前に集合する。</p> <p>2 バスに乗り、立宇津緑地公園へ出発する。</p> <p>3 立宇津緑地公園に到着する。</p> <p>4 港に移動し、活動の説明を聞く。</p> <p>(1) あいさつ</p> <p>(2) 指導者の紹介</p> <p>5 漁船に乗船し、定置網漁を体験する。</p>  <p>船の横に網が引き寄せられ、沢山の魚が集まった。児童が交代で、鯉や鯖、鰻等の魚を大きなタモで掬って入れ物に入れた。沢山の魚が獲れ、児童からは歓声が上がった。</p> <p>6 調理・昼食</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 魚のさばき方を知る。 ○ 捕れた魚は教師と児童が調理し、弁当と一緒に食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 準備の確認をする。 タオル、水筒、弁当、ライフジャケット ○ 市のスクールバスを利用する。 ○ 場所の確認後、トイレに行かせる。 <p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定置網船 海心（かいしん） 川崎 義成 さん <p>【安全対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 海の状況に応じて、活動を制限する。 ○ 児童には、必ずライフジャケットと運動靴、軍手を着用させるようにする。 ○ 引率者は携帯電話、救急箱を携帯し緊急時に備える。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定置網漁の体験を通して漁業について関心を持ち、地域の海に生息する生物を知ることができたか。（観察・ワークシート） <ul style="list-style-type: none"> ○ 調理体験は5・6年生のみで、3・4年生には見学をさせる。 ○ 作業前には、手洗いをしっかりさせる。 ○ 食物アレルギーのある児童への対応と観察を行



魚の内臓を取り出す作業には、抵抗のある児童が多いようであった

7 活動のふり返り

- (1) 感想
- (2) 児童代表 お礼の言葉
- (3) 校長先生のお話

8 バスに乗車し、帰校する。

9 到着・片付け

う。

【評価】

○ 地域の海で魚を捕り、それを調理し食べるという一連流れを体験することで、食への関心を高めることができたか。

○ 各学年から感想をもらう。

○ 乗車前に忘れ物の確認をし、トイレに行かせる。

3. 今回の活動の自己評価

- インターネットや図書を利用した調べ活動と SUP、定置網漁の体験活動を通して、地域の海や海洋を利用した職業についての関心や意欲を高めることができた。
- 海洋を利用する職業のよさや難しさ、抱える課題について考えることができた。

4. 今後の課題

- 次年度は予算がないため、活動費がかからない活動を考えていく必要がある。
- 学習活動の幅を広げるために、様々な地域素材を探していく必要がある。
- 乗船活動になるために、天候に左右されるために余裕のある計画を立てる必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※ 別添資料（活動計画、学校新聞）

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。